

松原市立松原第五中学校 進路通信 No.22 令和 4年 8月 29日

五中ホームページ

NOBIRU




2学期スタート

2学期が始まりました。まだまだ、暑い日が続いていますが、感染予防・体調管理に気を付けて一日一日を大切に過ごしましょう。

チャレンジテスト、10・11・12・1月の実力テスト。そして定期テスト。進路決定に向け本格的にスタートです。夏休み中にオープンキャンパスや学校説明会など参加しましたか？2学期は各高等学校等で学校説明会や体験入学が実施され、受験に向けての本格的な取り組みが進んでいきます。進路通信をよく見て、申し込みを逃さないようにして下さい。また、全ての学校等の案内をすることは出来ません。気になる学校は各自しっかりチェックし参加して下さい。夏休み前に大阪府教育委員会ホームページに掲載されている公立高等学校の説明会・体験一覧表を配布しました。皆さんが希望している高校を抜粋して印刷しています。無い場合は各学校のホームページをチェックしてください。

夏休みを利用して、いろいろな高校の体験入学に参加した人は必ず「体験入学報告書」に記入し、担任の先生へ提出して下さい。

2学期 定期テスト・実力テストの予定

8月29日時点での予定です。変更になる場合もあります。

9月

★チャレンジテスト(9月6日)

- ・大阪府育英会奨学金申し込み
- ・大阪府育英会入学時増額奨学資金申し込み

★10月実力テスト(9月30日)【進路決定の重要な資料です】

- ・第2回進路希望調査

☆2学期中間テスト(10月13・14日)

★11月実力テスト(10月31日)【進路決定の重要な資料です】

- ・講演会「面接対策講座」(11月9日)

★11月進路懇談(11月14・15・16・17・18日)

- ・進路用個人写真撮影
- ・就職希望者求人票配布
- ・第3回進路希望調査 【専願・併願、私学を二校程度に絞ります】

☆2学期末テスト(11月28・29・30日)

12月

★12月実力テスト(12月2日)【私学を決めます】

★12月進路懇談(12月13・14・15・16・19日)

- ・就職希望者職業相談
- ・私学願書準備…志望校に行っておこう

【体験入学などですでに入手した人・WEBは行く必要ありません】



2学期の受験対策ポイントは

- ① 志望校を決める
 - ② 基礎・基本の最終チェック
- の2つです。

志望校を決めるためにも気になる高校には足を運び、実際に自分の目で見ることが大切です。「入りたい」と願う「目標」があれば学習意欲は高まるはずです。

私立高校については1学期の懇談時に配布した「私立のいいところ満載！」に日程が紹介されています。教室に掲示されているビラも見るようにしてください。

中学校で学習する日も残り半年。やり残した・・とならないよう毎日を大切に。

**新型コロナウイルスの感染状況により変更される場合があります。
最新情報は各高等学校のホームページをチェックして下さい。**

・大阪府立長吉高等学校

日 時：10月29日(土) 受付 9:00 9:30～11:30

内 容：説明会・体験授業・個別相談

対 象：中学生・保護者

申し込み：10月7日(金)までに中学校でまとめて申し込むので
担任まで連絡してください

アクセス：大阪メトロ谷町線「長原」 大阪メトロ谷町線「出戸」

出戸バスターミナルよりバス利用の場合

16系統「瓜破東8丁目」行乗車「長吉長原西3丁目」下車

33系統「長吉川辺4丁目」行乗車「長吉高校前」下車



エンパワメントスクールとは

「わかる喜び」や「学ぶ意欲」を呼びおこし、生徒の皆さんの力を引き出す学校です。一人ひとりの力に応じたわかりやすい教材の活用や、タブレット端末や電子黒板などを活用した学習、「正解が1つでない課題」について考える参加体験型の授業を実施します。

また、生徒が相談しやすい環境を整備するために、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーや就職支援コーディネーターなどの外部人材も配置されます。

一人一人の力に応じたわかりやすい教材の活用

必要に応じて、義務教育段階の学習をすることもできます。

少人数・短時間で集中力を高める授業

1年生の国語・数学・英語は、モジュール授業として取り組んでいます。

毎日30分習熟度別に2クラス3展開の少人数編成で学びます。

タブレット端末や電子黒板などを活用した学習

2つのコンピュータ教室だけでなく、90台以上のタブレット端末を活用し、調べ学習や写真を取り入れた作品制作等を行っています。各教室に電子黒板が設置されており、画像や動画などのコンテンツを利用した授業が積極的に行われています。

参加体験型の学習

週4時間あるエンパワメントタイムでは生徒と教員が共に学びあい、「正解が1つでない問題を考える」授業を行っています。実社会で対話するちからを育みます。1年生の「産業社会と人間」では「大丈夫と感じられる場」で、コミュニティボールを回しながらみんなで「考える」ことを楽しみます。言葉で表現することを通じて「じぶん」に気づき、他人との利害を超えた深いつながりを自覚し、それを新たな方法で表現することを目指しています。